

平成 20 年 3 月 27 日
北 九 州 市 環 境 局

PCB 廃棄物の広域輸送について

北九州 PCB 廃棄物処理事業では、これまで、北九州市内、福岡県内にある PCB 廃棄物の処理を優先的に実施してきたが、本年 4 月からは、これと並行して福岡県外 16 県にある PCB 廃棄物の処理が始まる。これに伴い、これまでのトラック輸送に加え、鉄道、船舶を利用した広域での収集運搬が開始される。

PCB 廃棄物の収集運搬については、これまでも、法令や PCB 廃棄物収集運搬ガイドラインで基本的な安全性は確保されている。また、日本環境安全事業(株)では、収集運搬時の具体的な基準を定めた「受入基準」、収集運搬業者を選定するための「認定要綱」を策定し、本市も、北九州市 P C B 廃棄物処理計画を策定するなど、更なる安全の確保に努めてきた。

「北九州 PCB 廃棄物処理事業に係る広域調整協議会」ではさらに、広域輸送の開始に備えて、広域輸送に対応した日本環境安全事業(株)受入基準の確認、広域輸送での留意点の決定等を行い、広域輸送のルールを定めた（別紙参照）。

本市としては、これらのルールを遵守し、広域での収集運搬が安全確実に実施されるよう、広域調整協議会において、各県、日本環境安全事業(株)に対して、収集運搬事業者等への指導・監督の徹底を要請するとともに、引き続き、市内での収集運搬が安全確実に実施されるよう収集運搬事業者への指導・監督に努める所存である。

○広域輸送のルール（概要）

1 トラック輸送、鉄道輸送、船舶輸送に共通のルール

- (1) 法令や収集運搬ガイドライン、日本環境安全事業㈱の受入基準・認定要綱、広域調整協議会で定めた事項を遵守。
- (2) 北九州市内での運搬は、本市の PCB 廃棄物処理計画(搬入経路、搬入時間等)を遵守。
- (3) 日本環境安全事業㈱に PCB 廃棄物を搬入できる者(搬入者)は、PCB 廃棄物収集運搬業の許可を取得し、日本環境安全事業㈱の認定を受けた収集運搬事業者。
- (4) 複数の運送事業者が連携して収集運搬を行う場合は、
 - ① 搬入者が日本環境安全事業㈱の認定を申請。
 - ② 連携者は PCB 廃棄物収集運搬業許可を取得。
 - ③ 搬入者は連携する運送事業者日本環境安全事業㈱の受入基準に定められた内容を遵守させる責任を負う。
- (5) 搬入者は、搬入の都度、日本環境安全事業㈱に保管事業所から処理施設までの運搬計画を提出。
- (6) 運搬容器は、受入基準に定める漏れ防止型金属容器・漏れ防止型金属トレイを使用。
- (7) 収集運搬の安全の確保等のため、
 - ① 収集運搬の従事者には、PCB 廃棄物を安全かつ確実に取扱うために必要な教育・訓練を実施。
 - ② 必要な教育・訓練を受けた従事者及び受入基準に適合した機材(容器、車両、応急資器材等)の使用。
- (8) 事故等による損害賠償のため、自動車保険その他の適切な保険に加入(3 億円以上)。
- (9) 台風、大雨、積雪、地震、事故等により運行に支障が生じている場合等は運行を制限。

2 トラック輸送のルール

- (1) 運行管理
 - ① 運搬車両には、運行状況等の情報を発信する GPS システムにより、運行経路が確認でき、緊急時に関係者に通報できるシステムを整備。
- (2) 搬入経路等
 - ① 市内：北九州市処理計画に定めた経路により運搬。
 - ② 市外：高速道路、国道等の幹線道路の運行を基本。幹線道路の選択は、より高規格の道路を優先。
 - ③ 長距離輸送や本市への搬入時間の調整等のため、自社車両基地で 1 泊程度留置する場合は、積替保管の許可不要

3 鉄道輸送のルール

(1) 運行管理

- ①鉄道運送事業者は、既存の鉄道運行管理体制により運行状況等を一元的に管理し、鉄道無線等装置により、緊急事態発生時に搬入者に通報できる体制を整備。

(2) 搬入経路等

- ①貨物列車への積み込み、積下しは、鉄道運送事業者が PCB 廃棄物の収集運搬業許可を得た自治体内の貨物駅で行う。また、北九州市内での積下は北九州貨物ターミナル駅で行う。
- ②北九州貨物ターミナル駅からの運搬は、北九州市の処理計画に従い搬入者が行う。
- ③漏れ防止型金属容器等を JR 貨物コンテナに積み込み、貨物列車に積載する。

(3) 鉄道により、PCB 廃棄物を輸送する鉄道運送事業者は、PCB 廃棄物収集運搬業許可取得が必要。

4 船舶輸送のルール

(1) 運行管理

- ①船舶運行事業者は、船舶運行管理システムにより運行状況等を管理し、船舶電話等の装置により、緊急事態発生時に搬入者に通報できるシステムを整備。

(2) 搬入経路等

- ①本市の港への船舶輸送、本市の漁協の漁業権の及ぶ範囲を通過しての船舶輸送は行わない。
- ②船舶輸送は、原則として実績のある定期航路を利用。
- ③積下し港から日本環境安全事業㈱までは、トラック輸送又は鉄道輸送の基本ルールを遵守し運搬。

(3) 安全対策

- ①危険物船舶運送及び貯蔵規則等を遵守。
- ②車両及び運搬容器の固定方法、運行中の安全確認方法は、船舶ごとに異なる対策が必要となるため、使用船舶が決まり次第、個々に万全の安全体制を確立。

(4) 船舶に積載した PCB 廃棄物運搬車両のドライバーが乗船する場合を除き、船舶を利用して PCB 廃棄物を輸送する船舶運行事業者は、PCB 廃棄物収集運搬業許可の取得が必要。